

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	上野の山文化ゾーンフェスティバル					所管	文化産業観光部 文化振興課	
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成 4 年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
根拠法令等	その他	[法令等名]	上野の山文化ゾーン連絡協議会設立規約					
事業対象	区民をはじめ広く一般							
事業目的	国内で類を見ない多様な文化施設が集まる上野の山を、施設間の連携・交流を図ることにより、芸術・文化の拠点として発展させ、その魅力を広く国内外に向けて発信する。また、より多くの区民等が文化に触れることのできる機会の創出を図る。							
事業内容	平成2年に設立された「上野の山文化ゾーン連絡協議会」メンバーによる協働事業(27年度末現在、25団体が加盟)。毎年9月から11月にかけて「上野の山文化ゾーンフェスティバル」を開催し、各施設の展覧会・イベントをはじめ、幅広い分野の講師陣による講演会シリーズや、寛永寺との連携イベントを実施する。このフェスティバルを広くPRするため、パンフレットとポスターを作成し、首都圏エリアの文化施設・鉄道駅を中心に配布する。また、上野の山の施設間の連携・交流を図ることを目的とした連絡協議会を年2回開催するほか、文化ゾーンを来訪者のニーズにあわせて紹介するパンフレット(子供向け、多言語版(英・中(簡・繁)・韓の4種類)、年間行事予定)を作成し配布する。							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	パンフレット・ポスター作成部数(全4種類)	(部)	200,400	190,400	193,400	190,400	
		講演会シリーズ 講演実施回数	(回)	15	15	16	14	
	成果指標	講演会シリーズ 参加者数	(人)	1,500	1,359	1,660	1,386	
		講演会シリーズ アンケート満足度	(%)	98.0	93.0	95.0	89.0	
	決算額	(単位：千円)			2,343	2,364	2,989	
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			8,948	9,777	4,010	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,344	2,365	2,990	
		(単位：千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			11,292	12,142	7,000	
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	(単位：千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	344		
	一般財源(区負担額)			11,292	12,142	6,656		
前回評価から改善した事項	本区へのさらなる外国人来訪者の増加が見込まれるなかで、上野の山の文化施設を紹介する英語版パンフレット「Ueno Art Guide」の内容を、より分かりやすい翻訳に全面的に改訂した。また、外国人来訪者の中でも割合の多い中国・台湾・韓国からの観光客に向けて、同パンフレットの中国語(簡体・繁体)版、韓国語版を新たに作成した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	上野の山は、多様な文化施設、寺社、史跡、名所が揃っており、国際的にみても特色ある貴重な文化資源である。事業内容の異なる各施設の連携に寄与し、上野の山全体を芸術・文化の拠点として発展させることに努めることは、区の文化振興にとって不可欠である。					
	効率性	4	本事業の支出の大半はパンフレット作成費であるが、東京観光財団からの補助金を充当するなど、区の一般財源の支出削減に努めている。また、パンフレット作成作業においては、各施設の担当者が原稿作成・校正に携わっており、講演会シリーズ等のイベントについても、各施設の費用負担で実施している。					
	手段の適切性	4	各施設が自主事業について独自にPRを行なっている一方、それらを上野の山全体の情報として、通常は一般公開されていない施設まで取りまとめて発信する独自性を有している。さらには、観光課や産業振興課、他区の文化振興セクションと連携し、区内外のイベントや観光団体に対して積極的に広報を行なっている。					
	目的達成度	3	平成27年度は、前年度に比べて講演会シリーズの講演数減少に伴い参加者数は減少したが、応募者数は約10%増加している。アンケート満足度については、各講演の主催が他施設であるため限界はあるが、アンケートで寄せられた意見を各施設にフィードバックし、可能な限り改善に努める。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性			
今年で25回目を迎えるフェスティバルの継続的基盤を活かして、国立西洋美術館の世界遺産登録、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた上野「文化の杜」新構想実行委員会の動向を注視し、上野の山の継続的な発展という観点から、今後も各施設との連携・協力を維持しながら事業を実施していく。					維持			
					拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			